

みえ市民活動・ボランティアニュース

ひろげる つなぐ かえる

2014

2

2014年1月25日発行
通巻182号



P1-2 熱中手帖。

-これまで×これから- Vol.20

神津佐啓発会

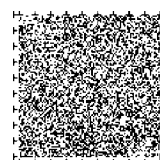
会長 徳田 真宏

P3-4 三重ぐるり～みえの市民活動～

今月のテーマ：若者が活躍している団体

- P5 募集のご案内、助成金情報
- P6 クローズアップ協創のヒント集、活動のぞき見隊
- P7 マイNPO物語、NPO・ボランティア私の一冊 ほか

下の模様は SP コードと呼ばれるバーコードで、専用の読取機で音声を聞くことができます。



執中手帖。

—これまで×これから— vol.20

世代を超えた良い循環から 良いコミュニティがえられる

神津佐啓発会

会長 徳田 真宏

僕たちの地区には 「愛郷心」が高い人が多い

設立趣旨や活動目的について教えてください

団体名でもある「神津佐」というのは地名です。啓発会の「啓発」は、小学校の名前です。昭和30年に南勢町（現：南伊勢町）と合併しましたが、合併する前は神原村という村でした。その神原村にあった小学校が「啓発小学校」で、啓発小学校があるのが「神津佐地区」だったんです。

いろいろなことを考える中で、合併を繰り返しても残っていく名前…僕らは生まれた時から南勢町だったので、啓発小学校があった時代を経験していませんが、啓発小学校の子は「啓発っ子」と言われていたそうです。それを知って「啓発」という言葉をなくしたくないと感じ、団体名に入れました。

2003年に仲間が集まった酒の席で、「そういえば子どもたちが最近外で遊ぶ姿を見なくなったな」「友達の家に遊びに行ってもテレビゲームの中で話をして帰っていくという寂しい時代になったんやな」という話になり、それではダメだということで会を立ち上げました。発起人は7人でした。

きっかけとして地区の行事を見直したとき、多くの行事が簡素化されてきていることがわかりました。簡素化された理由には、高齢化や担い手の不足などがありましたが、どこかで他人事のように考えていました。酒の席でも「なんとかしなければ」という姿勢ではなく、「いまの地区の行事はダメやな」という外側から物を見る感じでした。しかし、「そういえ

ば地区の行事って出たことあるか」という話になったとき、「そういえば出てない」ということに気づきました。

地区の行事が面白くないから参加しないのではなく、自分たちが参加してもっと楽しくすることで、みんなが関わってくるのではないかなと思いました。そんな簡単な話から2003年に「神津佐活性グループ」という団体をつくりました。団体を立ち上げた次の日に、神津佐活性グループというのをつくったので参加しないかと、小さな区なので69戸ぐらいしかないので、そのほとんどに呼び掛けの用紙を配ったら32名もの賛同がもらえ、メンバーが集まりました。結成が11月だったこともあり、できることから手をつけようと、自分の地区のイルミネーション装飾や門松の設置を始めました。

その後、2004年4月に「神津佐啓発会」を立ち上げました。最初は、「啓発会」という名前だけでしたが、それだと神原村全域になってしまう。僕たちもそうなのですが、神津佐地区の人たちは地域を愛する想いが強いんです。僕らが勝手に作った言葉で「愛郷心」と呼んでいるんですが、愛郷心が高い人が多いんです。それならやはり「神津佐」の名前もつけようということで、神津佐啓発会として発足しました。

夕涼み会、盆踊り、秋のみのり祭、天王祭、灯籠流しと、自分たちで作った行事から地区の伝統行事まで関わっています。自分の地区の行事に参加することは特別なことじゃないので、これをやって凄かつ

たということはありませんが、結果として人が集まってくることになりましたね。

地域の人と同じ方向をみて進むための場所が必要

多様な世代が関わる活動について教えてください

地域の伝統を伝えていくことは、そこに住む人が多いか少ないかとか、時代背景がどうであるかとかではなく、地域が1つになって一緒の方向に進むための場所があるかどうかだと思います。例えば、「天王祭」という祭では、高齢者から子どもまで一緒になって交流することができます。年齢によって役割や参加する意義は違いますが、結果的にみんなが天王祭に出ることによって、地域全体が1つになれる場所ができます。

年末には家族総出で忘年会をやったり、門松をつくっているときに中学生や高校生が手伝いに来てくれたり、世代を問わず1つになれるのはこの活動をやってきて良かったところですね。イルミネーション装飾や門松の設置なども含め、僕たちは会の活動実績のために動いているわけではありません。子どもの頃に野山を駆け巡り秘密基地を作っていた延長ですね。40歳になっても神津佐というフィールドで遊んでいる感じです（笑）。

「この会があって良かった」と言っていただけでもあるのですが、もともと神津佐区は愛郷心の高い人が多いので、潜在していたものが活動をきっかけに自然と引き出されたんだと思います。

あと、会がどんどん発展していけばいいなという思いはありません。会があることは、きっかけに過ぎず、本当の目的は、世代を超えた良い循環（サイクル）が生まれ、良いコミュニティがつくられることです。行事をきっかけに良いコミュニティができることで、普段の生活の中で助け合える関係性が生まれます。神津佐地区では、世代間のサイクルが上手くできあがりつつあります。それは会としてではなく地区としての自慢ですね。

啓発っ子の魂を信じていきたい！

今後の課題や将来展望について教えてください

会が設立して10年経って、いろんなことが上手く回りだした感じですね。現在28人のメンバーがいる

のですが、親子ぐらい年が離れている人同士でも、会の活動がきっかけで一緒にお酒を飲むようになりました。同年代で固まりやすい横型の集まりが多い中で、僕たちは世代を超えた縦型の関係性をつくれているんだと思います。教育的に良いのかどうか分かりませんが、大人たちは子どもからあだ名で呼ばれています（笑）。中高校生ぐらいになると僕たちから誘うのではなく、自ら会に入りたいと言ってくる子もいます。この前も中学生が、赤や青などのヒーロースーツを率先して着用し、年下の子どもたちを盛り上げてくれました。

また、この10年で区長を除いた地域の役員は、全て会の人が担うことになりました。それに関しては、この会があったからというわけではなく、自分たちの地域で自分たちが役員になるということは、今までもそうでしたし、これからもそうなる当たり前のことなんですよね。会自体も若い世代が入ってきて、自然に世代間のサイクルが生まれています。当然、それを義務的にしたり、勧誘していたりするわけではありません。会を継続していかなければいけないという考えもありません。会の活動をみてどう感じるかは自ずと理解してもらえるのではないかと考えています。

上手く進んでいるので、今後の課題や将来展望も特にありません（笑）。先ほども言いましたが、会自体は無くなってもいいと思っています。それよりも地区全体で1つの方向を向ける場所を大切にしていってほしいと思います。人口が少なくなっても地区をどうしていくのかという意味を確かめられるような場所を。啓発っ子の魂を信じていくしかありません。



DATA

神津佐啓発会

事務局住所 〒516-0104
三重県度会郡南伊勢町神津佐 1025
T e l 0599-66-0704
代 表 者 会長 徳田 真宏

団体設立年月日 平成 16 (2004) 年 4 月 1 日
会 員 数 個人会員 28 人
会 費 5,000 円



三重県内で魅力ある活動を行っている市民活動・ボランティア団体等を県内各地域の市民活動（支援）センター等の協力を得て、ご紹介します。

各地域には地元を盛り上げるために、社会をより良くするために、活動している若者たちがいます。若者ならではの発想力や行動力で新たな取り組みにチャレンジしています。若者が活躍している団体は・・・？

今月のテーマ 若者が活躍している団体

北勢 地域

桑名アレルギーっ子集まれ！

情報提供：特定非営利活動法人 みえきた市民活動センター

アレルギー児をもつお母さんたちは、毎日たいへんな思いをしています。ホッと息抜きできる場を作りたいとの思いからこのサークルはできました。食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、喘息などをもつ子どものお母さんたちが集まり、情報交換、悩み相談、雑談などを行っています。最新のアレルギー医療の知識提供やアレルギー対応クッキングも開催しています。防災フェアへの参加をし、アレルギーのある子どもたちへの理解を求めています。アレルギー児をもつ母親なら誰でも参加できます。気楽にのぞいてみて下さい。



ひとこと PRI! アレルギー児をもつ母親たちのつながりを作り、アレルギーっ子が暮らしやすい社会をつくる。

✉ bed-car-trip@yahoo.co.jp

北勢 地域

北勢地域 若者サポートステーション

情報提供：四日市市なやプラザ

「北勢地域 若者サポートステーション」は、北勢地域の若者の自立・就労を支援するところです。「自分は、どんなことがしたいんだろう・・・」「話すことが苦手だなぁ・・・」「仕事に就くことが不安・・・」などの悩みや課題を持っている方たちのご相談に乗り、自立、就労に向けたアドバイスをさせていただいています。相談スタッフには、キャリアコンサルタントや、心理カウンセラーなど専門スキルを持った者などが親身になってご相談を受けさせていただきます。15～39歳の、主に自立を目指す現在無業の方を対象にしております。



パソコン教室の様子

ひとこと PRI! ご相談料金は無料ですので、お気軽にお越しください！

☎ 059-359-7280

北勢 地域

鈴鹿医療科学大学 ボランティアセンター

情報提供：鈴鹿 NPO サポートセンター

平成20年8月より、鈴鹿医療科学大学ボランティアセンターは活動を始めています。学生ボランティア委員が主体となってボランティア活動を企画・実施したり、地域でのボランティア活動に参加しています。ボランティア活動では、日頃あまりできない体験を通して、人とふれ合うことの楽しさや、人の心のあたたかさを実感することができています。また、学生ボランティア委員は、ボランティアに参加するだけでなく、ボランティアに関する勉強会を開催したり、学生同士の交流会などを行い、楽しく毎日を過ごしています。

手づくりのゲームコーナーは大盛況でした!!



ひとこと PRI!

ボランティアセンターに興味のある方は一度お立ち寄りください。

ボランティアセンター
☎ 059-383-9208 【内線 2201】

伊賀 地域

MOSHed POTATO

情報提供：特定非営利活動法人 なばり NPO センター

2011年12月設立、平均年齢30歳。地域におけるアーティストの卵の中間支援をしています。地元が誇れる隠れた才能を見出し育て世の中に送り出す。そしてメジャーになった彼らが伊賀に凱旋し、彼らの影響力も手伝って、音楽やアートを通じた地域の活性に繋がりが盛り上がる・・・そんな大きな思いを抱いて活動しています。ライブ等イベント開催時には、収益の一部を寄付するなど、楽しみながら慈善活動の支援にも取り組んでいます。

伊賀出身デザイナー作



ひとこと PRI! あなたの音楽・アート好きが社会貢献に繋がります。一緒に活動しましょう！

✉ info@moshedpotato.com

中勢 地域

津市げんき大学

情報提供：津市市民活動センター

津市げんき大学とは、市民有志が集まり津市をもっと元気に面白くしよう!というコンセプトのもと各自がプロジェクトを立ち上げみんなでサポートしながら活動しています。

現在まで、津のゆるキャラを用いてイベントを行い地域に根ざした活動をする傍ら、うまっぷの作成、津ぎょうざのご当地グルメの祭典 B-1グランプリへの出展、津市のハートを熱くする講座、東北山田町へのスタッフの派遣、津まつり等数々のプロジェクトを行ってきました。

ひとこと PR!

本年度は津市白塚名産のカタクチイワシを使ってアンチョビを作ろう!というイベントも企画しています。何か面白い事をしたい!元気な街にしたい!けど何しよう?と考えている方は是非!げんき大学の扉を叩いてみてください!



この写真はゆるキャラ忘年会での写真です!

✉ tanpopo.gmail.com(代表:加藤)
☎ 090-8554-2427(代表:加藤)

南勢 地域

子育てグループハハノワ

情報提供：いせ市民活動センター

私たちは3歳の子どもを育てる4人の母親グループです。福島原発の事故後、子どもを守りたい、不安を抱えるお母さんたちとつながりたいという一心で活動を続けてきました。初めて主催した中部大学の武田邦彦教授の講演会では、1,000人以上の方に足を運んでいただきました。これからも、県内のさまざまな団体と連絡を取り合い、放射性物質から不安を抱えている親子が1日でも早く安全な地域へ移住できるよう、移住先で安定した楽しい暮らしが続けられるように願っています。

ひとこと PR!

私たちは子どもたちに安全な世界を残すため、問題意識を持って、日々戦うお母さんでありたいと思っています。



2012年7月に主催した武田邦彦講演会にて、武田邦彦先生とハハノワメンバー

✉ <http://hahanowa.exblog.jp/>
☎ 090-1474-0909(荒木)

東紀州 地域

新鹿青年団

情報提供：東紀州コミュニティデザイン

環境省が選定する「日本の快水浴場 100 選」にも選ばれている海水浴場がある町、熊野市新鹿町(あたしかちょう)で、「もう一度町に活気を」を合い言葉に自分たちが生まれ育った町を盛り上げようと 2003 年に結成。それ以降ビアガーデン、ビーチバレーボールフェスティバル、野外音楽フェスなどを行っている。海水浴やキャンプ等で多くの観光客が訪れるこの町で、新鹿に遊びにきてくれた人や、帰省した人たちの交流の場を提供したいという思いから様々なイベントを開催しています。

ひとこと PR!

みんなに楽しんでもらい、自分達も楽しむ。7月~8月には色々なイベントを行っています!



ビーチバレーボールフェスティバルのひとコマ

✉ info@atashika-seinendan.jp
(新鹿青年団 事務局 岩崎紀之、濱野晃一)

中勢 地域

ハピックス

情報提供：松阪市市民活動センター

津・松阪・伊勢在住の 20 代後半から 30 代前半の若者が集まり『レクリエーションと連動させた社会貢献活動』に取り組んでいます。現在活動の中心は、月 1 回、休日を利用して伊勢市駅前で行う清掃活動です。清掃活動をした後は、参加者みんなで伊勢のご当地グルメを食べたり、スポーツをしたり、“楽しむこと”を大切に活動しています。

活動の実績として、チャリティーのスポーツ大会を開催し、募金で集まった寄付金を社会福祉法人日本介助犬協会に寄付したこともあります。5~6 名を中心に、友達や職場の方に参加を集め和気あいあいと活動しています。市民活動センターを通じて地域の方が参加して下さることもあります。

ひとこと PR!

私たちの活動に興味のある方はお気軽にお問い合わせください。



☎ 080-4300-0465
(代表:岡村)

南勢 地域

志摩高校・志摩水産高校

情報提供：志摩市民活動通信 sanpo

志摩地域には、二つの高校があります。

小中学校までの受動的な福祉教育から一歩進み、自分たちの専門や能力を活かし、主体的に地域に関わる姿がとても素敵です。

【志摩高校】志摩ロードパーティスタッフ ボランティア部
あおさクッキー商品化 調理部、路線バスのペインティング、志摩市商品券デザイン 美術部、介護施設訪問 華道部、幼稚園・保育園演奏 吹奏楽部

【志摩水産高校】里海フェスティバル公開授業(真珠アクセサリー教室など)、サバ缶をパックした防災グッズ「サバCAN」の企画配布、志摩いつきサバ缶の開発商品化、ダイビング体験教室などなど

バスペイントにトライ! by 志摩高



ひとこと PR!

地域で活躍する若者が、地域で育っています。志摩の未来に光りが灯ります。

<http://www.city.shima.mie.jp/pdf/20131201.pdf> 詳しくは WEB で

3月号のテーマは

まちづくりに関る団体

です。



募集とご案内

共感の輪を広げる広報力を高める講座 まずは「広報力」!

協働やプレゼンの場で、相手側に自団体の活動の重要性や必要性をしっかりと伝えるノウハウを学び、共感の輪を広げていきましょう。

【第1回】まずは「キャッチコピー」!

日時: 2月14日(金) 13:30 ~ 16:30

【第2回】まずは「リード文」!

日時: 2月27日(木) 13:30 ~ 16:30

※どちらか一方のみの受講も可能

講師 米山 哲司氏...PR プランナー

場所 鈴鹿市男女共同参画センター ジェフリーすずか 研修室1

対象 NPO、市民活動団体、企業 CSR 担当者など

募集人数 各回 30 名 ※参加費無料

応募方法 HP から、または Fax にて申込み

応募締切 2月7日(金)

問合せ先 三重県環境生活部 男女共同参画・NPO 課 NPO 班
Tel 059-222-5981 Fax 059-222-5984

HP <http://www.pref.mie.lg.jp/NPO/>

多様な地域ニーズを多様な組織が連携して支える ～災害時の支援の現場から～

自分達の組織が持つ専門性や強みが、災害発生時にどう活かせるか、どのようなことに取り組めるかを、災害発生時の具体的な事例を通じて考えてみませんか?

講師 川北秀人氏、田村太郎氏

… 日本財団 次の災害に備える企画実行委員会

日時 2月26日(水) 13:30 ~ 16:30

場所 みえ県民交流センター 交流スペース(アスト津3階)

対象 災害ボランティア支援に関心のあるNPOや社会福祉協議会、行政、企業、個人の方

募集人数 40 名 ※参加費無料

応募方法 HP から、または Fax にて申込み 応募締切 2月21日(金)

問合せ先 三重県環境生活部 男女共同参画・NPO 課 NPO 班
Tel 059-222-5981 Fax 059-222-5984

✉ seiknpo@pref.mie.jp

HP <http://www.pref.mie.lg.jp/NPO/>

学生・地域連携イベントの参加者募集 「学生」×「地域」の取組事例発表会

県内の学生グループが、地域と連携して取り組んでいる活動について発表し、会場参加者の共感を集めた活動を表彰するコンテスト形式の発表会を開催します。

日時 3月1日(土) 13:00 ~ 18:00

場所 アストホール(アスト津4階)

対象 地域団体、NPO、企業関係者、学生、大学関係者など

参加費 無料 ※要申込み

問合せ先 三重県 戦略企画部企画課

Tel 059-224-2025(立花・山田) Fax 059-224-2069

✉ kikakuk@pref.mie.jp

HP <http://www.pref.mie.lg.jp/KIKAKUK/HP/miesalon/>

成年後見制度の法人後見人学習会

判断能力が低下した認知症高齢者、知的・精神障がい者等の増加が予測されていますが、その人たちを護る成年後見人の絶対数は不足しております。この状況を少しでも解消すべく市民後見人、法人後見人等の人材育成・指導のための学習会を開催します。

日時 2月15日(土) 10:30 ~ 16:00

場所 みえ県民交流センター イベント情報コーナー
(アスト津3階:津駅東口隣接ビル)

対象 成年後見制度、法人後見人実施に関し困っている団体および個人
成年後見活動、法人後見人実施を目標とされている団体および個人

参加費 2,000 円(資料代)

募集人数 50 名 ※申込み先着順

応募締切 2月10日(月)

主催 (特活) 市民福祉団体全国協議会

後援 (特活) 市民福祉ネットワークみえ、三重県社会福祉協議会、三重県

問合せ先 (特活) 市民福祉ネットワークみえ
Tel 0597-37-4165(宮原) Fax 0597-37-4166

✉ eye2-center@bronze.ocn.ne.jp

第38回あけぼのハウス三重 ～あなたは一人ではありません～

あけぼのニュース(あけぼの会会報)129・130・131をもとに、乳がん体験者同士の学習会と相談会を行います。

日時 3月1日(土) 11:30 ~ 15:00

場所 みえ県民交流センター ミーティングルーム(アスト津3階)

参加費 200 円 ※要申込み(お弁当持参してください)

問合せ先 乳がん体験者の会「あけぼの会三重支部」

Tel 090-1289-0405(加藤)

✉ kitakuroda65sk@ezweb.ne.jp

助成金情報

助成金情報は、弊センターホームページでも多数ご紹介しております。

HP <http://www.mienpo.net/center/>

- ・交流協会「文化交流事業」2014 年後援助成(分野:国際交流 日本・台湾) 2月14日(金) 当日消印有効
- ・アサヒビール「未成年者飲酒予防基金」2014 年度助成 2月20日(木) 当日消印有効
- ・全日本冠婚葬祭互助協会「第15 回社会貢献基金助成」(分野:文化・福祉・環境・国際) 2月28日(金) 必着
- ・ポーラ伝統文化振興財団 2014 年度助成 2月1日(土) ~ 3月31日(月) 当日消印有効
- ・砂防ボランティア基金 平成 26 年度助成 3月31日(月)

クローズアップ

協創のヒント集

県民が力を合わせることによって、地域社会で「今までできなかったことができるようになる」ために大切なヒントを毎月ご紹介いたします。

ヒント 8 寄付で支援する

【ヒント 8】

非営利で活動する市民活動団体は、慢性的に活動資金が不足しています。一時的には資金不足を乗り越えられても、結局、資金不足のために活動を止めざるを得ない団体もかなり出て来ています。

継続的な取組や、特に先進的な活動には、補助金や委託金など公的資金にはなじまないものが多いです。また、公的資金は市民活動団体の自律性を損ないやすいという問題があり、さらに市民活動団体が増えてくると、公的資金だけで応援することにも限界があります。

これらを解決する一つの手段が、市民による寄付です。しかし、震災救援などの一時的な寄付とは異なり、日常的な市民活動団体への寄付の促進には、これまでほとんど取り組まれていません。市民が市民活動に対して資金を提供する、「お金による共助のシステム」の整備が求められています。

【ヒント 8 の事例】

- ①多様な寄付を組み合わせる「みえ子どもファンド」(全県) **実施主体** 子どもの心を受け止めるネットワークみえ
- ②コーズリレーテッドマーケティングの手法「鳥羽サイダー」(鳥羽市) **実施主体** 鳥羽旅館事業協同組合(団体)
- ③資源回収による間接的寄付「鈴鹿ハンターのグリーン券」(鈴鹿市) **実施主体** 鈴鹿ハンター(企業)
- ④若い人の寄付への関心を高める「赤い羽根KBプロジェクト」(全県) **実施主体** 赤い羽根KBプロジェクト

引用：『夢をかたちにするまちづくり～「新しい公共」のヒント集～』(三重県・新しい公共円卓会議／2013年3月発行)

活動のぞき見際 Vol.7

NPOの活動、団体のサポートなどのNPOに関わりのある活動ってどんなことをしているのでしょうか？その活動現場で活躍するスタッフのある日の一日を紹介します。

今回は、松阪市を拠点に、ひと・まち・企業の、「いいコト」や「ステキ」を伝え広め、新たな可能性へとつなぐ活動をしている、NPO法人Mブリッジの福島さんに密着しました。Mブリッジは、NPO支援・コミュニティビジネス支援・CSR(企業の社会的責任)推進・エシカル推進をテーマに、松阪市市民活動センターの指定管理業務や、まちづくり型カルチャースクール「ブンカの交流館」の運営、地域情報誌「ミエシカル」の発行、各種講演会・セミナーの開催等を行っています。

HP <http://m-bridge.jp/> 連絡先 0598-23-8400

特定非営利活動法人 Mブリッジ

企業とNPOの協働推進事業部チーフ

福島 有香さん

三重県出身、三重県在住。三重大学大学院在学中、名古屋のNPOでのインターンシップを通じてNPOに興味を持つ。寺子屋プロジェクト、津市NPOサポートセンターを経て2010年にMブリッジに就職。ファンドレイジング、まちづくり型カルチャースクール、セミナーの企画実施に携わる。



9:30 出勤、ラジオ体操、朝の会



出勤後はみんなでラジオ体操をして、朝の会を行います。

10:00 事務作業



電話対応、アポ取り、メールチェック、書類作成などの事務作業を行います。

講座の開催



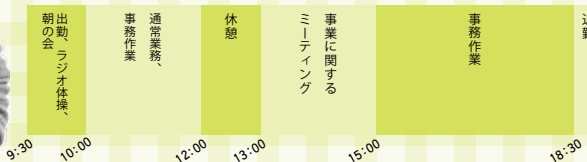
事務作業やミーティングだけでなく、講座を開催する日もあります。



13:00

事業に関するミーティング

より良い事業を進めていくための大切なミーティング。



【情報を提供していただく皆様へ】

掲載希望の際は、ホームページからフォーマットをダウンロードしていただき、E-mailまたはFaxにて以下の要領でお送りください。

- (1) フォーマットに必要事項を入力の上、毎月10日までにお願いします。
- (2) E-mailは件名に「市民活動・ボランティアニュースへの掲載希望」と明記してください。

ホームページ 原稿用 フォーマットダウンロード手順

トップページから「みえ市民活動・ボランティアニュース」のボタンをクリック。「イベント情報投稿」「募集情報投稿」の2種類がありますので、掲載内容によってお選びください。「申し込みフォーム」をクリック後、出力していただくか、データをパソコンに保存してお使いください。

<http://www.mienpo.net/center/>

E-mail center@mienpo.net Fax 059-222-5971

みえぎんNPOローン

好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高1,000万円まで無担保でご融資！

対象：三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに みなさまとともに”

詳しくはTEL059-354-7130(審査部)まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>



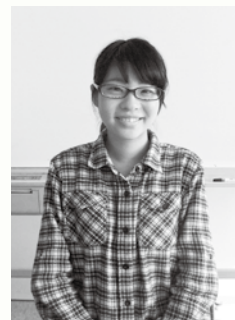
三重銀行



ジョイア 代表 池戸 綾さん (津市在住)

プロフィール

愛知県一宮市出身。三重大学人文学部法律経済学科産業経済専攻3年生。趣味は歌うことで、三重大のアカベラサークルに所属。三重大1年の時中国へ語学研修。



この活動楽しそう!と思ってメンバーになりました。大学1年生の秋、友達に誘ってもらったのがきっかけです。

「ジョイア」は2005年9月に三重大学准教授と当時の人文学部の学生たちが設立した、在住外国人の子どもを対象に学習支援活動をしているボランティア団体です。

登録メンバーは約20名で、現在は10名程が活動しています。三重大学生の他に社会人、主婦、高校生が登録しています。現在の生徒数は6名で、そのうちの3名は高校受験を目指しています。公立中学校に通っている生徒もいますが、母国で中学校を卒業していると、日本で再度中学校に入ることができなくて、「ジョイア」や「日本語教室」で頑張っている生徒もいます。日本語もまだ習得していない中で、数学や英語を勉強するのは大変だと思いますので、少しでもお手伝いできればと思います。ただ勉強するだけの場ではなく、教える側と学ぶ側の年齢が近い分、息抜き場としても捉えてもらっていいかなと考えています。

私自身は、いま大学では産業経済のゼミで伊賀市のまちづくりについて勉強しています。伊賀市のまちを盛り上げようと、伊賀市と人文学部が連携し、ゼミでは中心市街地の活性化をどうしたらいいかについて、アンケート調査やヒアリング調査などから分析・考察します。最終的には伊賀市に提言をする予定です。

これからも先輩たちがつくり上げてきた「ジョイア」を大切に、よりよい活動ができるように頑張っていきたいです。

NPO・ボランティアの私の一冊

みえ県民交流センターの図書・資料コーナー等から、スタッフがおすすめするNPOやボランティアに関するさまざまな書籍類をご紹介します。



社会貢献でメシを食う。
ダイヤモンド社
竹井 善昭
2010年9月9日

この書のタイトルの磁力に引き寄せられて手に取る。社会貢献で本当にメシが食えるのか?と興味をそそられる。そう簡単でない厳しい社会貢献の道、それを志し、仕事にするための「4つの選択肢」と「プロフェッショナルになること」の重要性を説き、導いてくれる。

今、国の財政難から民間の創意工夫によって山積する社会問題を解決することへの期待は高まっている背景もあり、「ビジネス的な手法をもって社会問題を解決する」ソーシャルビジネスが目立つ。若者たちの中では、社会の役に立つ、社会を変える、やりがいのあるカッコイイ仕事として関心も集まっている。そこで社会セクターの概要、ポイントを分かりやすく紹介する。

一方、企業にとっても持続可能な社会への貢献、役割を担う経営戦略を真剣に考えるときが来ていると指摘する。

とにかく世の中の社会貢献への関心をさらに高めることが必要であり、この書はそのヒント集、手引書として一読をお勧めする。(谷)

転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者:みえ NPO ネットワークセンター」に連絡してください。

みえ市民活動・ボランティアニュースはこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】(津市)みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学 (桑名市)桑名市市民活動センター (いなべ市)いなべ市市民活動センター (東員町)とういんボランティア市民活動支援センター (四日市市)四日市市市民活動センター/四日市大学 (亀山市)亀山市民協働センター (鈴鹿市)市民ネットワークすずかのぶどう/鈴鹿国際大学/鈴鹿医療科学大学 (松阪市)松阪市市民活動センター (伊勢市)いせ市民活動センター/望学館大学 (志摩市)志摩市市民活動支援センター/横山ビジターセンター (名張市)名張市市民活動支援センター/エコリゾート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/名張市総合福祉センター (伊賀市)伊賀市市民活動支援センター/伊賀市立図書館/伊賀青年会議所 (尾鷲市)東紀州コミュニティデザイン (明和町)めいわ市民活動サポートセンター (南伊勢町)南伊勢町町民文化会館 (紀宝町)紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/県下JA/バンク各店/メディカル光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール/三重県地域機関(地域防災総合事務所(桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊賀) 地域活性化局(南勢志摩、紀北、紀南)/三重県米町庁舎(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/三重県立こころの健康センター/斎宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/三重県鳥羽パート情報センター/三重県立熊野古道センター/各市役場/各市町中央公民館など

認証した特定非営利活動法人

(2013年12月10日~2014年1月9日認証分)

①法人名②主たる事務所の所在地③活動分野④認証年月日⑤代表者

①特定非営利活動法人
エフ・フィールド
②桑名市陽だまりの丘7丁目
2504 番地
③保健、社会教育、人権、
子ども、経済活動
④ 2013 年 12 月 13 日
⑤理事長 成田 久美子

①特定非営利活動法人
れいんぼう
②松阪市大黒田町 1819 番地 3
③地域安全
④ 2013 年 12 月 11 日
⑤理事長 家崎 正明

①特定非営利活動法人
りんどうの会
②四日市市桜台一丁目 17 番 1 号
③保健、その他
④ 2013 年 12 月 11 日
⑤理事長 杉村 正彦

①特定非営利活動法人
労働問題研究所
②津市上浜町 3 丁目 15 番地 2
ディアホームズ志とも 504 号
③人権、男女、経済活動、
職業能力、障がい者の自
立と共生社会
④ 2013 年 12 月 11 日
⑤理事長 尾崎 正利

①特定非営利活動法人
浜島スポーツクラブ
②志摩市浜島町浜島 3564 番地 4
③まちづくり、学術、子ども
④ 2013 年 12 月 17 日
⑤理事長 矢田 智次

①特定非営利活動法人
名張やわらぎの郷
②名張市赤目町新川 263 番地 6
③保健、まちづくり
④ 2014 年 1 月 7 日
⑤理事長 瀧永 光雄

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行
第三銀行

三重銀行

百五銀行
FRONTIER BANKING

健康・安心・貢献
東海ろうきん

JAバンク
三重県下JA/JA三重信連



環境にやさしい植物油インキを使用しています。